

メトアナ配合錠WEB講演会

ご自宅や病院、診療所などから、インターネットを通じて参加いただける講演会です。

メトホルミンを紐解く

— 糖尿病治療における位置付け —

聖マリアンナ医科大学
代謝・内分泌内科 教授

田中 逸 先生

日 時

ライブ
配信

2019年9月18日(水)

● 19:00 ~ 19:30

再配信

2019年9月19日(木)

第1回

12:30 ~ 13:00

第2回

19:00 ~ 19:30

抄 録

メトホルミンは60年以上の歴史を有しているにも関わらず、その薬理作用は必ずしも明確ではなかった。すなわち、小腸から吸収され肝臓に取り込まれた本薬が肝のAMP活性化プロテインキナーゼ(AMPK)の活性亢進を介して肝糖産生を抑制することは知られていたが、インスリン抵抗性をどのような機序で改善するかは不明な点が多かった。近年、本薬服用後の体内動態と薬理作用に関する検討から、本薬の臨床効果にはGLP-1をキーファクターとした腸管作用が深く関わっていることが明らかになってきた。また、古くより知られていた本薬と腸内細菌との関係についても詳細な報告がなされている。本講演ではこれらの知見を踏まえて本薬の位置付けについて演者の考えを述べたい。

- ライブ配信におきまして、講演最後にはご参加いただいた先生方よりインターネットを介して質問し、講師の先生にお答えいただくお時間がございます。(ご講演25分、質疑応答5分を予定)